

## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

|           |                             | 学校名   | 青森県立黒石養護 | 学校   |   |   |   |
|-----------|-----------------------------|---|----------|--|---|---|---|
| 授業について    | 教科領域名<br>(✓又は■で<br>記入する。)   | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽<br><input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業<br><input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導<br><input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動<br><input type="checkbox"/> その他（ ） |          |  |   |   |   |
|           | 単元(題材)名                     | しりとりをしよう  |          |  |   |   |   |
|           | 単元(題材)の目標                   | 順番に語尾を読み取って、語頭につなげることができる   |          |  |   |   |   |
| 学習集団と実態   | 学部・学年・人数                    | 中学  | 部        | 1, 3   | 年 | 3 | 人   |
|           | 本単元(題材)における学習集団の主な実態        | ※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。<br>学力の程度としては、小1程度であり、1名は聴覚障害をあわせ有している。2名は1年生程度の漢字を使っているが、漢字の読み書きに間違いが多い。1名はひらがなを主に使用しているが、文字の読み取り書き取りともに難しい。  |          |  |   |   |   |
| ICT活用について | 使用した支援機器・教材の名称              | ※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。<br>タブレット、PC、プロジェクタ  |          |  |   |   |   |
|           | 使用したアプリケーションの名称             | ※使用したアプリケーション名を記入する。<br>Adobe reader<br>JAMBOARD  |          |  |   |   | アプリマーク<br>  |
|           | 主な活用の用途<br>(✓又は■で<br>記入する。) | (複数選択可能)<br><input type="checkbox"/> コミュニケーション支援<br><input type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 )<br><input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 )   |          |  |   |   |   |
|           | ICT活用のねらい                   | ・それぞれが意見を出し合いながら協力して、ルールに沿って言葉をつなげていくことができる。<br>・従来、教材準備(プリントアウト)にかかっていた時間が削減できる。   |          |  |   |   |   |
| 活用の状況と支援  | 活用の状況と支援                    | ※ICT 活用場面と行った支援について記入する。<br>・背景として投影したしりとりに、交代で線を引いて、しりとりをつなげる。<br>・線を引く活動は生徒が行うが、アンドゥ機能が必要になったり、図を変更したりする際には、教師が行い、学習活動に滞りがないようにした。<br>・黙って操作する場合は、単語を読み上げるよう言葉掛けた。<br>・Jamboard の付箋機能を用いて画面内に表示された名詞の付箋を並べ変えて、しりとりをつなげる。<br>・黙って操作する場合は、読み上げながら操作するよう言葉掛けた。   |          |  |   |   |   |
|           |                             |    |          |   |   |   |   |